

URL http://kanagawanet.org/

議員を職業化・特権化しない!

NO! 新たな議員の年金制度

議員年金アクションチーム長 土山由美子(ネット伊勢原/市議)

地方議員の「厚生年金への加入」を求める意見書を採択した議会が、今年1月現在で29都道府県議会と8政令市を含む871となったことが報じられています。

水面下で進む法整備

地方議員が、厚生年金に加入することで、新たな市民負担も生じますが、想定される負担額など市民への説明は行われていません。相次いで政務活動費の不適切な使い方が明らかに...

2011年の議員年金廃止は、地方制度調査会においては、出にくいということでしょうか。

調査の正確性を問う

厚生年金への加入を求める議員からは、議員の職業化が進んでいることや議員のなり手を増やすためという理由が聞かれます。議員の厚生年金加入への法整備に取り組んでいる

県内自治体の回答は?

神奈川県内の議員は、専業・兼業状況について、何ら聞き取りを受けていません。そこで、こうしたデータがどのような聞き取りを行いましたか。

市民政治を実践する

専業議員が増加傾向にあるという理由で、議員だけに手厚い処遇を施し職業化しようとする動きに市民の理解は得られません。また、兼業議員と専業議員が混在する特別職公務員の厚生年金加入については法的にも問題があります。



神奈川ネットワーク運動 第42回総会アピール 未来につなぐ働き・暮らし

格差社会が進行し、特権的な価値を受け入れ、幾重にもセーフティネットがある社会へとつくり変えていきます。

誰もが希望をもって安心して働くこと・暮らすことができる「共に生きる社会」へ舵を切っていくなくてはなりません。しかし、人々が分断される社会にあつては他者へ思いを馳せることは難しく、自分さえ良ければという考えに流されがちです。今、神奈川ネットには、分断の溝をうめ、生活者に寄り添い信頼の糸をつむぎ直す役割が求められています。

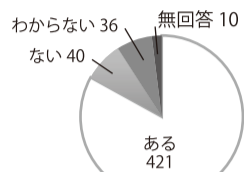
私たちが、これまで多くの市民や市民団体とともに地域の実践から社会を変える提案やアクションを続けてきました。4月の鎌倉市議会議員選挙において、政治に参加する市民を増やしながら、ローテーションを成功させます。自治する市民の輪を拡げ、元気におおらかに地域から活動をすすめていきます。

「議員のための年金制度」アンケート結果

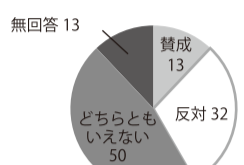
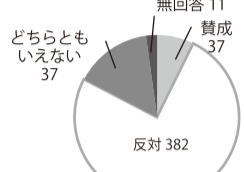
市民アンケート 回答者 507人

議員アンケート 回答者 108人

Q:あなたが加入している年金制度に対して、将来の不安はありますか?



Q:地方議員が厚生年金に加入できるようにするなど、議員のための新たな年金制度が検討されていますが、どう思いますか?



市議会議員の属性に関する調べの対応状況

Table with 6 columns: 自治体 (Municipality), 調査の担当部署はどこですか (Where is the survey department?), 現況調査の実施を議員に周知していますか? (Have you informed councilors about the survey?), 調査内容は議員が回答していますか? (Are councilors answering the survey?), 回答内容について議員に聞き取りを行いましたか? (Did you interview councilors about their answers?), 過去5年間の調査資料の提出をお願いします (Please submit survey data from the past 5 years).

専業か兼業かについては、各議会事務局が選挙時や当選後の届け出から回答しているケースが多数でした。調査に回答していることを議員に周知している議会にはゼロ、職業の専業・兼業に関して一部聞き取りを行った川崎市、逗子市を除き本市、逗子市を除き本人への確認は行われていませんでした。

社会のあらゆる面で格差が拡がり、多様な生き方を認め合う共生社会が求められている今、神奈川ネットは、代わり合う市民政治を実践し、多様な市民の生活課題の解決に努力します。